

特許情報分析報告書(審査請求段階 No.〇〇〇〇)

報告書作成日:2018/〇/〇

報告責任者	〇〇 〇〇	報告作成者名	〇〇 〇〇
出願番号	2018-〇〇〇〇〇〇	出願日	2018/2/8
(優先権主張の出願番号)		(優先日)	
公開番号		公開日	
請求項数	5	調査対象請求項番号	1,2,3,4,5
発明の名称	〇〇装置		
出願人名	〇〇株式会社	発明者名	〇〇 〇〇
代理人名	弁理士 〇〇 〇〇;弁理士 〇〇 〇〇		
受注日	2018年〇月〇日	入金確認日	2018年〇月〇日
利用人名(または担当者名)	〇〇株式会社 〇〇部 〇〇 〇〇		
調査対象資料	公開(特許・実用新案)公報、登録実用新案公報、公表・再公表(特許・実用新案)公報		
調査対象期間	昭和58年～平成30年〇月〇日の公報発行分		
調査ツール	Hypat-i2		
調査対象の把握・調査の観点・分類の説明(定義)			
<p>◆ 調査の観点 ◆ 【請求項1】〇〇〇〇と、 〇〇…と、 〇〇と、 〇〇と、 を備え、前記〇〇は、〇〇…に〇〇する〇〇装置。 【請求項2】〇〇〇〇と、 〇〇…と、 〇〇と、 〇〇と、 を備え、前記〇〇は、〇〇…に〇〇する〇〇装置。</p> <p>◆ FIについて ◆ (B30C65/00 予備成形品の接合;そのための装置)</p> <p>◆ FTIについて ◆ 3H019AB02 ..電熱線 3H019AB03 ...1体埋込型 3H019BA12 ・その他</p>			

検索論理式	TXT=全文 TXI2=名称+要約+請求項:更新 IC2=IPC:更新 FI2=ファイルインデックス:更新 FT=Fターム [, , * , ,]W2 [, , * , ,]A5 = 近接演算	検索結果 (スクリーニング件数)
a	FI2=(g01b11/???) * FT=(2f065???? * 2f065????)	476(0)
b	FI2=(g01b11/???) * FT=(2f065???? * 2f065????) * TXT=(照射+アクティブ+投光) * TXT=(減算+演算) * TXT=(飽和+過剰+サチュレーション+サチュレーティング+サチュレート+サチレーション)	71(71)
c	FI2=(g01c3/06,110a) * FT=(2f112aa?? * 2f112fa??)	258(0)
d	FI2=(g01c3/06,110a) * FT=(2f112aa?? * 2f112fa??) * TXT=(飽和+過剰+サチュレーション+サチュレーティング+サチュレート+サチレーション)-(b)	54(54)
e	FI2=(e05f15/20) * FT=(2e052ba?? * 2e052ga??)	301(0)
f	FI2=(e05f15/20) * FT=(2e052ba?? * 2e052ga??) * TXT=(照射+アクティブ+投光) * TXT=(減算+演算)-(b)-(d)	31(31)
合計		(143)

調査結果(同一、類似、参考のいずれか)	先行技術文献	参照箇所、コメント	関連する請求項
(1)特開2010-312653	類似	<p>請求項1、3、図4:センサーであって、1本のアナログ信号線に2種類のアナログ信号を伝送するように構成されていることを特徴とし、その二つの信号とは(1)光量信号と受光量信号Fとの差信号と、(2)受光量信号Fであることが開示されている。しかし、アナログ演算器は一個のみであり、N-F,F各信号を専断的に処理し続けるオペアンプを二つ備えるわけではない。[0015]:N+FではなくN-Fを伝送する理由として、…(略)。</p> <p>ただし、○○…を有する旨の記載はない。</p>	1,2,3,4,5
(2)特開昭57-255319	参考	<p>請求項1、図1:光アクティブ型三角測距方式のセンサの入力回路において、測距装置1/V変換回路(オペアンプ)の入力部に複数の検知素子を、複数のスイッチを介して接続する発明が開示されている。当該スイッチ開閉の組み合わせにより様々な演算をおこなうことができる。検知素子は複数のシリコン・フォト・ダイオードを列状に配列したものである。また、増幅器は1個のみで2個はない。請求項3:組み合わせの出力が差演算結果となる発明が開示されている。2ページ右下欄9行目以下:遠側近側信号に各々相当するa,b,さらにa-b,b-aを出力として得ることも必要に応じて可能であることの記載がある。</p> <p>ただし、○○を有する記載はない。</p>	1,2,3,4,5
(3)特開平10-110115	参考	<p>2ページ右上列10行目以降:従来技術の紹介としてアクティブ三角測距センサにおける以下の典型的な演算三例の例示がなされている。 ①$I2/(I1+I2)$,②$(I2-I1)/(I1+I2)$,③$\ln(I2/I1)$ しかし$I1/(I2-I1)$または$I2/(I2-I1)$の例示はなされていない。</p>	1,2,3,4
<p>「同一」:審査官からの通知(新規性)で引用される可能性が高い文献(補正等によりこの文献との差違を明確にする必要がある可能性もあります。) 「類似」:審査官からの通知(進歩性)で引用される可能性が高い文献(依頼案件の技術的思想の一部が記載されている可能性がある文献。) 「参考」:一般的な技術水準を示す文献</p>			
<p>◆ 総合コメント、備考 「同一」「類似」に該当する文献は見つからなかった。「参考」として、構成要件を部分的に開示する文献を報告する。</p> <p>◆ 本調査は、本願と最も関連性が高いと思われる特許分類を対象としているため、周辺部分において更に本願に関連する文献が存在する可能性を有する。</p>			
<p>◆ 添付書類一覧 抽出公報(1)~(3)のPDF</p>			